

「B s e t o f D i g i t a l」

1 The Strongest Zirconia Ceramics

2 Digital Take Shade

齊藤 勇

近年世界的にジルコニアをフレーム材としたセラミッククラウンが臨床で使用されており、CAD/CAM/Zirconiaを正しく理解することは知識的なトレンドとも言えよう。また、臨床本数が増加するに従い特に臼歯部位における破折トラブルに遭遇する場合もあるようだが、ジルコニアセラミッククラウンにおけるフレームとセラミックの結合状態や結合様式など解明されていない部分が多く存在しており、今後の研究が期待されているところである。

ジルコニアセラミックの破折原因の多くは、フレーム材とセラミックの熱伝導率の差に起因し、微妙な熱膨張係数の差によるものである。今まで一般的に言われていた徐冷の定義を確立する本研究は現在進行中であるが、現時点で明らかな臨床結果を伴うため今後の推理も含めて発表し、Zeno Tec Systemで製作されたジルコニアセラミッククラウンの安全性を証明したいと思う。

審美修復にDigitalは欠くことのできないKey wordであるが、中でもデジタルカメラは身近な存在だろう。しかし、普及率に対し基本知識や撮影テクニックなどは皆無といっても過言ではないと思われる。無知から生まれる誤解が主流になることだけは避けたいものであるが、敷居が高いことも事実である。今回はデジタル画像をシェードテイクに使用するための基本知識とデータのハンドリングを簡単に解説することにする。